



沖縄子どもの国 いきもの調査隊

vol. 17
2024/11
通信

ジュウニマダラテントウ
Henosepilachna boisduvali



隊員のいきもの調査日誌

隊員：浦崎直生

ぼくは園内で、ツマムラサキマダラを見つけました。ツマムラサキマダラは9~11月がピークで、沖縄ではよくみられます。ふだんはふわふわ地面近くに飛んでいますが、つかまえる時はとてもすばしっこく、つかまえにくいです。そして、オスの翅の色は、宝石のようなとても青い色です。



ツマムラサキマダラ
Euploea mulciber
タテハチョウ科



とね先生、今月の
イチむし

刀禍 浩一
沖縄市立郷土博物館学芸員

マルバネルリマダラ
Euploea eunice hobsoni
タテハチョウ科



最新のニューカマー
マルバネルリマダラ

マルバネルリマダラは、これまで沖縄島では台湾などからごくまれに飛ばされてくるだけでしたが、2022年から記録が急増し、今ではあちこちで見られるようになりました。10月の調査では何匹も飛んでいましたよ。新しい種類が見れるのは楽しい一方、多くのチョウが分布域を北上させているのを考えると、温暖化の影響かも…と心配もあります。

いきもの調査隊 ってなーに？

研究者と一緒に、沖縄子どもの国に生息する様々な野生動物・植物を調査し、標本や図鑑を作成します。作成した標本や図鑑は子どもの国にて展示し、いろんな人に沖縄の身近な自然について知ってもらうボランティア活動です。



さとう先生、
植物 ありんくりん

佐藤 實之 理学博士
さとう先生が教える、
植物のあれこれ♪



モンパノキ

触り心地のいい葉っぱ

沖縄などの海岸に生育しているモンパノキ、子どもの国入口に植栽されています。白っぽく見える葉は全体が細かい毛で覆われておりモンパ（紋羽という肌着などに使われる柔らかい起毛生地）の名の通り、触り心地が非常にいいです。見かけたらぜひ触ってみてください。